

児童発達支援自己評価表(職員)

アンケート実施期間: 令和5年11月22日(水)～12月1日(金) 配布数:8 回答数:8

	チェック項目	はい	いいえ	無回答	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢法令に準じたスペースとなっている。</li> <li>➢個別の活動と運動の活動を1階と2階で区切られているので十分なスペースが確保されている。</li> <li>➢グループ活動内でサーキットに取り組む時や、運動の時間の時などに、もう少し広さがあると取り組み内容にも幅が広がるなどと思うことはあるが、子どもによっては、空間が広いことで落ち着かなくなり、活動に集中できなくなるケースもあるため、一概に広いスペースが良いとは限らないと思う。</li> </ul>
	2 職員の配置数は適切であるか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢今年度は人数が充分である。</li> <li>➢子ども一人一人に担当職員がいるので密に接していける。</li> <li>➢必要な時には、声かけなどを行い臨機応変に対応している。</li> <li>➢毎年、人員配置は法令に準じた配置となっており適切であるが、今年度は4月当初より良い人材に恵まれ、配置数だけではなく質の高い人材を確保できた。昨今、保育士の確保が保育園であっても難しい状態のため、児童発達支援においては更に保育士の確保が難しい状態である。</li> </ul>
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢1階と2階で活動場所が区切られているのでわかりやすい。</li> <li>➢マグネット等を使用し、(色分け)などプライバシーにも配慮もされ、提示されている。</li> </ul>
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢子どもたちが帰ったあと窓を開けて換気をしたり、職員同士分担して清掃を行っている。</li> <li>➢1人1人に合った環境設定を職員で話し合い設定している。</li> </ul>
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返りに、広く職員が参画しているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢日々の振り返りスペースと時間を設けて行っている。</li> <li>➢全員で行っている。</li> </ul>
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢毎年12月に評価を行っているため、1月以降で業務改善に繋げている。</li> </ul>
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢毎年12月に評価を行っており、結果をホームページに掲載し公表している。</li> </ul>
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢第三者評価は取り入れていないが、外部委託によるコンサルテーションを定期的に受け、業務改善に繋げている。</li> </ul>
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢月2回、職員で集まり会議を行い、その中で研修も行っている。</li> <li>➢ST、OT、心理の専門的知識がある先生の研修が定期的であり大変勉強になる。</li> <li>➢毎年法人開催が開催している臨床発達心理士による発達支援連続講座(西多摩地域の幼稚園や保育園の職員を対象とした講座)に、自己研鑽のため毎回積極的に参加している職員がいる。</li> <li>➢羽村市や東京都、その他専門機関が開催している発達支援に関する講演会などを職員に周知するよう努め、資質向上の機会を得られるよう努めている。</li> </ul>
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢4月は体験の時の太田ステージに加え、1人ひとりアセスメント表を使用し、みんなでチェックしている。</li> <li>➢1人だけで考えるのではなく、職員で話し合い計画を作成できる。</li> <li>➢アセスメントツールの使用や、医療機関等が実施した発達検査の結果などを通しながら、定期的にアセスメントを行ない計画作成に活かしている。</li> <li>➢基本調査票や面談、日々の報告を通して保護者の方のニーズを把握し、計画に反映するよう努めている。</li> </ul>
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢太田ステージを活用している。</li> </ul>
	12 児童発達支援計画には、「児童発達支援がイライラの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8	0	0	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8	0	0	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢アフターミーティング等でプログラムの話し合いを行っている。</li> <li>➢日々職員で話し合う時間が設けられており、それぞれが意見を出し合える環境になっている。</li> <li>➢プレミーティング、アフターミーティングでの話し合いで共通認識ができる。</li> </ul>
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢子どもの様子を見ながら気になることがあればすぐに相談し、子どもに合った支援を行うようにしている。</li> <li>➢定期的な振り返りやアドバイスを受けやすい環境が整っている。</li> <li>➢取り組み状況から、必要な時期に内容を変更し、子どもたちが興味を持って取り組めるよう工夫をしている。但し、発達段階によっては内容が定着するまでに時間を要したり、固定化が安心感を与え、情緒の安定性に繋がったりなどがあるため、敢えて固定化をすることもある。固定化が必要かどうかは適宜ミーティング内で話し合い、必要でなくなった際には次のステップに進めている。</li> </ul>
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢1人1人に対応した環境設がなされている。</li> </ul>
17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢プレミーティングで行なっている。</li> <li>➢時間をしっかりと設けられている。</li> <li>➢毎日必ず行っている。</li> <li>➢午前と午後1回ずつ毎回行なっている。</li> <li>➢毎回、支援内容、役割分担などが記されたプログラム用紙を使って確認を行なっている。</li> </ul>	

	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢アフターミーティングで行なっている。</li> <li>➢毎日しっかりと一人ひとりの振り返り、集団での様子を振り返りみんなで意見を出し合っている。</li> <li>➢アフターで毎日必ず行い、次はどう支援したらいいのか話し合う事ができている。</li> <li>➢休みの職員も情報の共有ができるよう、上記17番で挙げたプログラム用紙に必要事項を記録している。</li> </ul>
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢月1回の個別の話し合いで記録を参考に検討している。</li> <li>➢その日に必ず支援記録をとり、振り返り検証するようにしている。</li> <li>➢個別記録などで、だれが見ても支援の仕方がわかるようになっている。</li> </ul>
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8	0	0	➢見直しをし、次の支援につなげている。様々なアプローチの仕方を考えることができる。
関係機関や	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	0	0	➢子どもの全体の把握が行なえている児童発達支援管理責任者が主に参加しているが、必要に応じてグループ活動または個別活動の担当職員が同席する場合もある。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢施設が羽村市にあることから、主に羽村市の保健センターや、子育て相談課と連携することが多い。市からの依頼(事前に保護者には了承を得ている状態)で初回面談時に保健師の同席があったり、施設からも助言をもらうために連携を行ったりなどのケースがある。また、小学校に関することは各市町村の教育委員会に連絡を取り連携に努めている。以前、就学支援シートがなかった市町村に掛け合い、就学支援シートを作成してもらった市町村があった。</li> <li>➢子どもの通園先とは必要に応じて連絡を取り、情報共有に努めている。また、園からもアドバイスがほしいなどの連絡をもらうケースもあり、連携をしながら支援を進めているケースもある。</li> <li>➢相談支援事業所との連携は、モニタリングの際に行なわれることが多いが、モニタリング以外でも連携が必要な場合には、お互いに連絡を取り合いながら共通認識のもと、支援の方向性がブレないよう進めている。</li> </ul>
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保険、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				➢該当施設では無いため、回答を行なわなかった。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				➢該当施設では無いため、回答を行なわなかった。
保護者との連携	25	移行支援として、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	0	0	➢保育所や幼稚園、特別支援学校(幼稚部)への移行ケースは無いが、ケースがある場合には情報共有と相互理解を図って行けるよう努める。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢毎年4月に行なわれる特別支援学校の引継ぎ会に参加をし、情報の共有を行なっている。</li> <li>➢今年は学童への移行支援はなかったが、羽村市内で開催されている学童の主任連絡会に参加し、情報交換や意見交換を行ない、相互理解が図れる機会を得られた。</li> <li>➢毎年、各市町村が配布している就学支援シートへの記入を行なっており、小学校へ繋ぐ資料として作成している。</li> </ul>
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢直接自分がやり取りすることはないが、放デイ児発達連絡会などで連携している。</li> <li>➢市内の児童発達支援事業所、放課後等デイサービス、相談支援事業所、行政で構成された連絡会があり、定期的な会合を通して事業所間の連携を行なっている。</li> <li>➢臨床発達心理士、作業療法士、言語聴覚士の講師陣が定期的に来てくださり、アドバイスをいただけるのがそれにあたると思う。</li> <li>➢定期的にST、OT、心理士の訪問支援を受けている。</li> <li>➢子どもが通うリハビリの担当言語聴覚士よりアドバイスももらったことがある。</li> </ul>
	28	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ウインターウィークの園庭での関わり程度。</li> <li>➢交流できる機会を持っていない。</li> <li>➢日々の活動が決まっていることや、全利用児の利用回数が週1回となっていることなどから、定型児と活動する機会を定期的に設けることが難しい状況となっている。また、利用児全員に通園先があり、定型児と接する機会があることから、定型児との交流よりも施設内での療育を希望する保護者が多いことなどの理由から機会を設けていないこともある。但し、12月のウインターウィークでは、同法人に保育園があるため、園庭で遊ぶ機会を設け、交流ができるよう努めている。</li> </ul>
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	8	0	0	➢市内の自立支援協議会児童支援部会の委員として参加している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	0	0	➢保護者への報告の時間にその日に行ったこと、子どもの様子を丁寧に伝えて共通理解を持っている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢保護者向け研修などはないが、報告時に行えていると思う。</li> <li>➢報告時がそれにあたると思う。</li> <li>➢ペアレント・トレーニングなどは行なえていないが、報告の時間内で、保護者に対して助言・アドバイスをしない、家庭内で試してもらったり、対応してもらったりなどを行なっている。また、保護者より、試した後の様子を聞くなどし、話し合いながら対応力の向上に繋がるよう進めている。</li> </ul>
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	0	0	➢契約時に、重要事項説明書や契約書を通しながら行っており、質問や不明点がある際には追加の説明も行なっている。
	33	児童発達支援が「イライラの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容とこれに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢児童発達支援が「イライラ」で示されているねらいや内容を前提として計画を作成し、面談を通して説明、同意を得ている。</li> <li>➢職員に対しては、研修の一環として児童発達支援が「イライラ」を使用して児童発達支援事業所のねらいや目的について学べるようにし(または再確認できるようにし)日々の支援に繋げて行けるよう取り組んでいる。</li> </ul>
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢面談が年2回行われている。</li> <li>➢相談があった際には話を丁寧に聞き、保護者の気持ちを第一に考えている。</li> <li>➢報告(登所した日は必ず)の時に行う事ができている。</li> </ul>
35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援				<ul style="list-style-type: none"> <li>➢合同報告が該当している。</li> <li>➢合同報告会(月1)で保護者同士で顔を合わせる機会があります。</li> </ul>	

保護者への説明責任等		しているか				<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 就労している保護者が多いこと、通園先や併用している児童発達支援事業所による開催や活動が多いこと、きょうだい児がいる家庭はきょうだい児の方での開催や活動もあることなどから家庭の負担を考え、敢えて会を作ったり、開催したりなどを行っていない。但し、月1回合同報告の機会を設けており、子どもの様子を伝える場としてだけではなく、保護者同士が交流を持てる場としても狙っている。但し、毎年、保護者にはその狙いが伝わっていないケースが児童発達支援評価を通して上がってくるため、保護者同士の交流が進むよう、グループ活動のリーダー職員のファシリテータースキルを上げ、改善に努めていく必要がある。</li> </ul>
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 自分だけで対応が難しい時にも児童発達支援管理責任者や経験豊富な職員にすぐにアドバイスを受けることができる。</li> <li>➢ 契約時から相談は随時受け付けていることを伝え、お知らせ配布時にも相談事や不明点などがある場合には申し出ることができる旨を毎回周知している。</li> </ul>
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 必要なお知らせは配布している。日頃の様子ブログ更新が、なかなか難しい。</li> <li>➢ ホームページで発信しています。</li> <li>➢ いつもと違う活動がある際にお手紙を発行している。</li> <li>➢ 会報は作成していないが、年間スケジュールで組まれている予定は、紙媒体を通しながら連絡を行なっている。日々の必要な連絡については、報告時やメール、電話にて連絡を行なっている。お子さんに対しては、活動の変更がある場合は、グループ活動等を通して適宜伝えている。</li> </ul>
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 事業所外に情報を持ち出さないよう配慮している。</li> <li>➢ 同じ名字による書類の取り間違え、メールの一斉送信の際にアドレスが見えた状態での送信など、過去に起こしたミスが起きないように注意を払っている。</li> <li>➢ 報告時や電話受け付け時など、個人情報が漏れないよう、場所の設定や時間などに注意を払っている。</li> <li>➢ 子どもや家庭の情報が入ったパソコンは、子どもと保護者が利用する時間帯は片づけたり、画面を表示したままにしないよう注意を払っている。</li> </ul>
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ わかりやすく丁寧に説明するように心がけている。</li> </ul>
非常時等の対応	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	2	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 特に行事という大きなものを設定していない。</li> <li>➢ 地域住民を招待する行事はないが、窓が広く中が見えることで開かれていると思う。</li> <li>➢ 施設の規模が非常に小さいため、地域住民を招待するような行事などは行っていないが、施設の建物全体が外からも中からも見えるような作りとなっており、地域に開かれた状態となっている。また、建物自体が、「地域に開かれた運営」をコンセプトに建てられている。</li> </ul>
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 各クラスでいぬいに行っていると思う。</li> <li>➢ 避難訓練を年2回行っている。</li> <li>➢ マニュアルについては、年2回、会議内で確認している。</li> </ul>
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 避難訓練などを通し、訓練を行い様々な状況での避難の仕方を考えている。</li> </ul>
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等子どもの状況を確認しているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 書類を定期的に確認している。毎日の話し合いで常に情報が伝わっている。</li> <li>➢ 年度の始めに一覧表を作成し、職員に配布している。また、在園児・新規児共に、新年度が始まる前に基本調査票を配布し、保護者に記入を行なってもらっており、職員には担当する子どもの基本調査票には必ず目を通すよう指導している。</li> </ul>
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 現在、対象児はいないが、該当児がいれば左記の対応を行うと思う。</li> <li>➢ 書類を確認する事ができる。</li> <li>➢ 保護者の方から聞いている。</li> <li>➢ 現在、医師からの指示書が出るほどのアレルギーの子どもの受け入れは無いが、新規の子ども場合は、契約時に詳細な聞き取りと対応の確認を行ない、現場職員と共有ができるよう記録も行なっている。また、日々使用している活動内容や現場の配置を記した用紙にも、必要に応じて対応を記載し、情報共有が行なえるようにしている。さらに、おやつ時間で使用している各子どものネームプレートにも情報を表示している。</li> <li>➢ 年度の始めに一覧表の作成および配布、担当職員による基本調査票の確認を、設問43と同様に行なっている。</li> </ul>
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 入力がおろそかになっているヒヤリハットが多々あると思う。</li> <li>➢ 共有していると思います。</li> <li>➢ 会議内でヒヤリハットをテーマに挙げ、事例を共有することは行なっている。しかし、ヒヤリハットとする感覚や捉え方が各職員によって差があり、日々の振り返りでヒヤリハットの報告が上がって来ることが少ない。各職員の感覚や捉え方への改善が必要である。</li> </ul>
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 会議で研修をしっかりと受ける事ができた。</li> </ul>
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	8	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 今までに身体拘束を行なった事はない。</li> <li>➢ 会議でわかりやすく説明を聞く事ができた。</li> <li>➢ 身体拘束を行なうほどのケースが無いが、パニックからクールダウンするために別室対応などを行なった際には、報告時に保護者の方に様子と対応を伝えており、記録も行なっている。また、活動からパニックが予想される場合には、事前に保護者の方に対応を伝え、了承を得ている。</li> <li>➢ 身体拘束をやむを得ず行なわなければならないケースがある場合には、拘束を行なう3要件を満たしているかどうかを組織的に判断し、必要な手続き(個別支援計画への記載、家族などへの十分な説明など)を行なっていく。</li> </ul>	